

鳳山泉水

第26号

〈ほさんすい〉

発行人

秋田県立本荘高等学校
東京同窓会長
保科 勇記夫

題字 後藤竹清

現在の本荘高校

秋田県立本荘高等学校 校長 牛丸靖浩



東京同窓会の皆様には、平素より本校の教育活動に対しまして多大なる御理解と御支援を賜り、誠にありがとうございます。今年4月に着任いたしました牛丸靖浩と申します。本校には平成12年度から7年間勤務しており、このたび校長として戻って来ることができましたことを、大変喜ばしく思っております。

さて、東京同窓会報第26号の発行に際し、6月末時点での学校の様子をお知らせいたします。4月の入学式では、全日制184名、定時制8名の新入生を迎えました。全日制では、今年度

入学生より募集定員が10名減となり、5クラス編成となりましたが、国歌練習期間には例年どおりの大きな歌声が響いていました。5月の運動会では、好天に恵まれた水林陸上競技場で、生徒たちが躍動しました。6月末には、『瓊詩(リリック)』の綴り、青春のページ』のテーマのもと、玲瓏祭が開催されました。特筆すべきは、県内の高校の学校祭で初めてキャッシュレス決済を導入したこと。この新たな試みは大変好評を博し、新聞・テレビでも紹介されました。

7月に秋田県で開催される第50回全国高等学校総合文化祭では、本校生徒が放送及び美術・工芸部門に出場するほか、多数の生徒・教職員が、由利本荘市内で開催される日本音楽部門にスタッフとして参加します。

部活動の活躍もめざましく、今夏は端艇・弓道・陸上競技・卓球・ヨット・放送・美術の各部に加え、硬式テニスが個人で全国大会に出場します。18年ぶりの甲子園出場を目指す硬式野球部は、春季全県大会でベスト8に進出しており、7月8日に開幕する甲子園予選にはシード校として出場します。

進路面では、今春の卒業生190名のうち、私立大学には延べ110名が合格し、58名が進学しました。また、国公立大学には85名が合格し、80名が進学しました。これは卒業生全体の42%に当たり、直近10年間で2番目に高い割合となりました。

定時制課程には4年生まで23名が在籍しており、5月には3年生の修学旅行、6月には全員で岩城遠足を実施するなど、様々な活動を通じて生徒の成長を後押ししています。進路面では、今春の卒業生が小樽商科大学に合格するという快挙もありました。

このように、全日制・定時制ともに、本高生の真摯な努力が実を結んでおります。今後もさらに多くの朗報をお伝えできるよう、生徒・職員ともに励んで参りますので、引き続き皆様の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本荘高校の部活動

同窓会事務局長

黒田 知孝(86期)

今年度の部活動におきまして、現役生たちが日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し、目覚ましい活躍を見せておりますので、同窓生の皆様にお伝えいたします。

先の秋田県高校総体では、端艇部、硬式テニス(部活動枠外での活動)、卓球部、ヨット部、

陸上競技部、そして弓道部が素晴らしい健闘を演じ、今夏に開催される近畿インターハイへの切符を手に入れました。とりわけ弓道部においては、全県総体の男子団体戦、および男女の個人戦で共に見事な優勝を飾るという、極めて輝かしく誇らし

い快挙を成し遂げています。また、柔道やヨット、水泳をはじめとする各部におきましても、それぞれ日頃の鍛錬の成果を発揮し、東北大会への進出を力強く決めました。

球技系でも、硬式・軟式の両野球部が7月に控える県予選の突破と、甲子園をはじめとする全国の舞台を見据えて懸命に練習を重ねており、熱い夏に向けてチーム一丸となつて泥にまみれています。

一方の文化部におきましても、美術部と放送部が日頃の熱心な創作・研究活動の実を結び、全国大会への出場が決定いたしました。また、吹奏楽部が7月のコンクールに向けて熱心に合奏を重ねています。

さらに、今夏7月下旬からは秋田県を舞台に全国高等学校総合文化祭『あきた総文2026』が開催予定であり、本校の生徒や職員がこの大きな晴れ舞台での大会運営の成功に向けて、日々の活動に一段と熱を注いでいます。

郷土を離れて暮らす同窓生の皆様に、現役生の活躍で少しでも元気を届けられ

るよう努めてまいりますので、今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

【内容は6月30日現在】



端艇、剣道、吹奏楽(母校提供)

会長挨拶

東京同窓会 会長 保科 勇記夫 (73期)



初秋の候、皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、日頃より本荘高校東京同窓会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年、第59回総会・懇親会が

10月18日にアルカディア市ヶ谷で開催され、村岡同窓会会長、高橋校長先生はじめ、71名の皆様に出席頂きました。また今年実行委員となり、企画運営に汗を流して頂きました62・67・72・77期の皆様には心よりお礼申し上げます。さらに、初めて参加された方も多く、母校を敬愛する新しい仲間が増えた事を大変嬉しく思います。

懇親会に先立って行われました講演会には小説家の小笠原晃紀さん(77期)が秋田からいらっしやり、『小説にしたい ふるさとの素敵な先人』と題して、

象潟の九十九巻を本荘藩から守った寛林和尚に感動した皆さんは話の続きを知りたくて本を買って求められました。懇親会では女性8名のフラダンスで大いに盛り上がり、また私達が現役時代の本荘高校名物10円パンを復活し参加者のお土産にしました。懐かしがっていた方も大勢いましたが、私は毎日学食でラーメンかカレーライスを食べていたので10円パンの存在を知りませんでした(笑)。

今年の総会・懇親会は第60回となり、10月17日(土)アルカディア市ヶ谷で開催されます。実行委員は68・73・83・88・特別に74・112期で記念すべき第60回の式典を成功すべく企画しております。112期の方は、4月の秋田県人連合会で知り合い、実行委員をやってみませんかとお誘いしたら是非にと快諾して頂きました。このようにお声かけはとても大事で、今年4月に開催された由利本荘市ふるさと会は昨年より30名も多く総勢90名さらに初参加が27名と、役員と会員の皆様のお声かけの力だと

本当に感謝しております。

本荘高校東京同窓会の存在を知らない人がまだまだ沢山いると思います。いろいろな会合に参加した時、同級生・ご友人と会った時など、是非お声かけして頂きますようお願い致します。世代を超えて交流を深め、人との繋がりを大切にしながら、皆様に「参加して良かった」と思ってもらえる会を目指して参ります。

また3年間通学した本荘高校は由利本荘市にあります。時々市役所から来る関東での物販や移住支援などのお知らせを役員と共有して、由利本荘の特産品

を買って喜んで頂いております。皆様におかれましては、時々自身自治体のHPを見て頂きますと、関東での物販情報などがわかりますので、応援の程宜しくお願い致します。

結びになりますが、伝統ある本荘高校の名に恥じないよう、役員一同頑張っておりますのでこれからもどうぞ応援の程宜しくお願い申し上げます。そして皆様と一緒に楽しい会にして参りましょう。

後輩諸君、最後にお願いがあります。私達が元気なうちに、もう一回、甲子園に連れて行って下さい！

第59回総会・懇親会を振り返って

東京同窓会 事務局長 小杉利洋 (77期)



東京同窓会会員のみなさま、こんにちは。事務局長77期小杉利洋です。昨年の10月に、同窓会のメインイベントである「総会・懇親会」を、事務局長とし

て初めて開催させていただきました。また、数年ぶりに実行委員会が復活し、役員以外の方々が先導して大変盛況な会となりました。出席者は来賓を含めて71名となり、ここ数年にない多数の方々へ厚く御礼申し上げます。

個人的には、77期実行委員の活躍、小笠原晃紀さんの講演、佐々木千鶴さんのフラダンス、

砂川志保子さんの10円パン復活、お嬢さんに連れ添うため秋田から上京された佐々木睦美さんなど、同期の協力に感謝と感動、ありがたみが改めて身に沁みたり一日でした。

反面、出席者の高齢化に危機感を感じております。年代での割合を見ますと、60期代と70期代で全体の約90%を占め、80期以下の出席者が増える兆しが見えません。

90%のみなさんは、退職され

たか、一線を退かれて時間に余裕がある年代と思います。現役真つただ中の年代の方には、貴重な休日と思われるかもしれませんが、年に一度だけのイベントです。お試しに、様子見に、出席してみませんか。

ここで簡単に東京同窓会について述べさせていただきます。前身は1936年に「本荘中学校東京支部」として結成されました。その後、戦争を境としてしばらく休会となり、1966年に諸先輩のご尽力で再建しました。これでお気づきのよう

に、今年は初期結成から90周年、再建から60周年にあたります。この長い年月で同窓会の役割も変わってきたように思います。当初は、親元を離れて関東圏へ出た後輩の親兄弟に代わっ

て悩みを聞いたり、時には援助をすることもあったと思います。そのころは世代を越えた交流が活発だったでしょう。

今では何事も便利になり、先輩を頼ることもなくなりました。それでも同窓会を存続できているのは、母校を誇りに思っている方がいるからだと思います。私は本荘高校の校歌と団歌が大好きで(苦い思い出もあります)、年に一度歌える場を楽しみしております。

まだ出席したことのない会員のみなさんも、校歌を歌いに、秋田弁での会話を楽しみに、同級生を誘ってご参加をお待ちしております。



フラダンスのひととき

歳を重ねて

佐藤 健策 (67期)



昨年度の東京同窓会にて、懇親会の実行委員長を務めました佐藤です。

か健康に過(せて)います。

その要因としては、自分でも驚く変化だと思っているのですが、同窓会や地域自治会の手伝いをしていることがあります。

以前は中学校の東京同窓会の総会に年一回参加するのみでしたが、ここには、懐かしい顔を見られ自分の記憶の中に戻る時間と場所があると感じています。この同窓会を役員として手伝つことになったのが4年前のことです。高じて、

今住んでいる町内の自治会も手伝いから今年役員となり、まじつくり活動をしています。

なんと、昨年度は、冒頭のごとく東京同窓会の懇親会実行委員長も引き受けさせていただきました。

企画は実行委員会の若い皆さんに頼りました。10円パン復活アイデアやフラダンス、『小説にしたい故郷の素敵な先人』

と題しての小笠原様の講演を企画し実現するなど、その実行力は感心しきりでした。こうした同窓会や自治会の活動に誘われるがまま参加して、何か手伝い出来ている気がしているのは不思議です。

そのほか、ご他聞に漏れず、近所に住む5人の孫の存在や、自分の趣味であるサッカーと60歳前に始めたゴルフを、下手なりにプレーすることを継続しています。自分ではこうした日常に何か予定のあることが健康維持の要因と思っているのですが、やはり家族からは自分中心だと指摘をうけています。



趣味で続けるサッカー

同窓会の理事になってみて

堀田 睦子 (79期)



事の始まりは、2018年に届いた本荘高校東京同窓会からの「今年の実行委員をやりませんか？」という主旨の郵便物でした。いつもの私ならそのままそっと放置なのですが、その年の私の抱負は「来るもの拒まず！」でした。自分に嘘はつけないカッコいい私! (笑) には断るという選択肢がありませんでした。あの抱負がなければこうして理事になり寄稿している私も居なかったわけで、きつかけやタイミングというものは本当に不思議なめぐりあわせだなと思います。

さて、いくら同窓の先輩諸氏の集まりとはいえ、知る人も居ない初めての実行委員会に向かう際はドキドキしたものでした。ですがそんな緊張も、熱く迎え入れてくれた先輩方の笑顔によっ

て一瞬で吹き飛びました。私は大学進学で上京しそのまま就職結婚。嫁ぎ先の自営業の因果でなかなか休まず帰省もままならなかったもので、郷愁は無自覚のまま募っていたのかもかもしれません。しかしそれを差し引いても、

先輩方の同窓会をより良くせんと話し合う姿や秋田の思い出話、関東で身を立てられたお話などを聞くにつけ、敬意とともにこんなに近しく温かい気持ちになるとは思いもありませんでした。自分の中の本荘高校への愛、校心にも気づかされたのでした。

同窓会って誰かにとっては、どうでもいいものかもしれないし、誰かにとっては懐かしく大切なものかもしれない。参加するまでは正直「どうでもいい」側だった私でしたが、中に入ってみたらその価値や委員の方々の熱意、会を維持するための尽力などを

知ることになりました。そんな実行委員体験から8年が経ちました。コロナ禍のプランクもありつつ、今となっては旧交を深めるだけでなく、在学中は話したこともなかった同期



昨年行なつた親睦行事・高尾山ハイキング

『秋高連』について

秋高連運営委員

伊豆 憲一 (68期)



〇230人だったそうです。因みに、各校の参加人数に上限はないそうです。我が本高は最近6人程で推移しています。

真のフェスタの楽しみは講演を聴くことにあります。各校OBまたは秋田県に関連した方による講演会になります。今年の演者は、坂本武文氏(秋田南卒業。元本田技術研究所の生粋のエンジニアで、創業者の本田宗一郎氏に師事した最後の世代)。

演題は『本田の物創りとは？本田宗一郎の背中から』。秋田を担う次世代の経営者、若い人達へ、少しの妥協も許さない物創りの情熱を語り、自ら取り組んだF1レースのエンジン開発等をめぐるエピソードを披露していただきました。6月は、ふるさと訪問。県

関東圏に在住される秋田県の高校を卒業された方々は、各高校ごとの在京同窓会に参加されています。『秋高連』(『在京秋田県高専学校同窓会連合会』)は、その在京同窓会が集まってできた連合会組織で、今年40周年を迎えます。秋田県の高校は合併等により年々減少し、かつ同窓会の閉鎖が相次いでいるため、毎年参加校が減少しており、現在27校の参加となっています。

◇ ◇ ◇

次に『秋高連』の年間行事を紹介します。

3月〜4月は、春のミニハイク。今年は、靖国神社周辺の観桜とウォーキング。昨年は飛鳥山公園の散策でした。

5月は、市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷にてフェスタを大々的に執り行います。今年の参加人数は150人、コロナ前は22

入会者のための訪問旅行となり、旅行時期も6月や11月と閑散期に限定されます。もともと食べ物も美味しい新緑や紅葉の時期に団体割引を生かし、皆で楽しく故郷を訪問できればと希望していますが・・・訪問メニューは、市役所地区の代表的な施設、産業、道の駅、高校3校程の訪問になります。

11月は、秋のミニハイク。昨年は伊勢原市の大山詣りでした。個人でも同窓会を通じても参加は可能です。是非ご参加をお待ちしております。



参加校の同窓会旗



橋本五郎・秋田高校東京同窓会長と

巨人対横浜



令和8年8月2日、秋田県立本荘高校東京同窓会は、東京ドームで開催された巨人対横浜戦の観戦イベントを実施しました。

当日、東京の最高気温は35.3℃、しかし酷暑を忘れるほど快適なドーム内では、久しぶりに顔を合わせた本荘高校OB・OG同士の会話が自然と弾み、和やかな交流の場となりました。

参加者の中心は六十代・七十代の同窓生でしたが、今回は小学生のお孫さんを連れて参加されたOGの姿があり、世代を超えて本荘高校の絆が受け継がれていることを象徴する心温まる光景が広がりました。

試合は投手戦の様相で、スタンドでは得点の瞬間には大歓声が、惜しい場面ではため息が重なるなど、緊迫したイニングが続く。双方の応援合戦等、フィールドの緑と応援カラーであるジャ

東京ドーム観戦記

竹内 茂夫 (79期)

イアンツのオレンジ、ベイスターズのブルーのコントラストも鮮やかで、やはり生観戦は格別のものでした。

試合は2対1で横浜の勝利となりましたが、9回に登板した横浜の抑えルイスが投じた160キロの暴速球には、巨人ファンも思わず唖然と、スピード表示板の赤い「160」の文字が表示されると目を丸くするお孫さんの姿には、周囲の大人たちの笑顔を誘い、会場の雰囲気

をさらに和ませました。価値あるのは、OBやOGと

のご家族が同じ時間を共有し、語り合い、笑い合ったこと、世代を超えて参加できる同窓会活動の魅力を改めて示すものとなりました。

もちろん、観戦後の巨人敗戦の反省会も多数のOBやOGが参加され、その酒席はまるで放課後の延長のような雰囲気の話の場となり、「来年もまた集まりたい」「次は阪神線を見たい」といった声が自然と上がり、東京の中心で本荘高校の絆の深さを再確認する一日となりました。



観覧席から見た東京ドームと同窓生ら

予想外に長く続けられた仕事

猪股 義 周 (69期)



私は東京で音楽の仕事をして
おります。自分でも全く予想外
なことに49年間、他の仕事をす
ることも無く、音楽の仕事だけ
をやっていることができました。

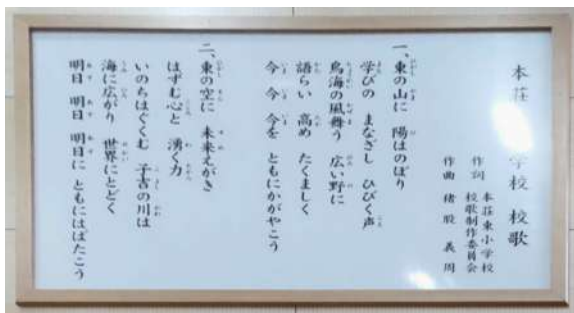
49年前、私は実家に戻り家業
を継ぐことが望まれる身だった
ので、1〜2年やってダメになっ
たら戻って家業を継ぐ程度の
気持ちで入った音楽の世界でし
た。云わば、逃げ道がある状態
で始めた仕事です。

キャバレーバンドから始めた
音楽仕事でしたが、そのうち、
デビュー間もない松田聖子さん
のツアーバンドの話がきて、以
降いろいろな人のツアー・ミュー
ジシャンとして旅回りの生活が
始まりました。しかし子供もで
き、もっと家にいたいと思い始
めた頃、都内のスタジオでレコー

ディングをするスタジオ・ミュー
ジシャンの仕事がくるようにな
りました。これは、ステージよ
り精度が高い演奏が求められ、
慣れないと結構プレッシャーを
感じる仕事ですが、なんとかう
まく対応できて、スタジオでやっ
て行けるようになりました。や
はり、ダメなら自分にはツアー
があるという心の逃げ道があっ
たと思います。

そして、編曲の仕事もやるよ
うになりましたが、ある日、超
大きな仕事をやってきました。
五木ひろしさんの新曲アレンジ
で、作詩なかにし礼さん、作曲
杉本眞人さんの両巨匠です。強
力なプレッシャーがかかりそう
な場面ですが、やはり自分は演
奏で食えるからという心の逃げ
道があつたせいか、意外なほど
自由に楽しくやることができました。
五木さんにも喜んでいただけま
した。

音楽を含む創作活動には、心
や発想の自由が必要で、背
水の陣で臨むような状況で、心
の自由さを持つことは、かなり
困難だと思います。心の逃げ道



作曲した本荘東小学校校歌

部活ダイジェスト

硬式野球部

第108回 全国高校野球選手権
秋田大会
(7月9日 さきがけ八橋球場)

第2日 本荘4・6男鹿工

端 艇 部

第37回 全国高校選抜ロイヤル大会
(3月21日 浜市・天童1ト場)

▼男子舵手つきクオドルプル
準決勝 5位

令和八年度 全国高校総体ロイヤル
(8月10日 大津市・関西み
らいロイヤルセンター)

▼女子シングルスカル
三浦楓音 準々決勝 2位

▼男子ダブルスカル
敗者復活戦 4位

▼女子ダブルスカル
準々決勝 4位

▼男子舵手つきクオドルプル
準々決勝 2位

▼女子舵手つきクオドルプル
準々決勝 5位

弓 道 部

第72回 秋田県高校総体弓道
(6月9日 秋田県立武道館)

▼男子個人 小野泰篤 優勝

▼女子個人 小笠原みゆ 優勝

令和八年度 全国高校総体弓道
(8月1日 甲府市・田辺スポーツ
パーク体育館)

▼男子個人 小野泰篤 決勝進出

▼女子個人 小笠原みゆ 決勝進出

▼男子団体 1回戦 本荘9・11王佐(高知)

陸上競技部

第81回 東北高校陸上競技大会
(6月12日 宮城県利府町・キュー
アンドエーススタジアムみやぎ)

▼男子円盤投 小林傑 決勝5位

▼男子ハンマー投 小林傑 決勝12位

硬式テニス

令和八年度 全国高校総体テニス
第116回 全国高校選抜選手権大会
(8月5日 奈良県・ワタキュー
テニスパーク明日香)

▼男子シングルス 1回戦 須藤泰多3・6小倉孝介
(京都・東山)

卓 球 部

第72回 秋田県高校総体卓球
(6月4日 美郷町・リリオス)

▼女子団体 準優勝

▼女子シングルス 渡部つき3位

柔 道 部

第76回 東北高校選手権柔道
(6月20日 会津若松市・あいづ
総合体育館)

▼男子個人 100kg超級 五十嵐慧 3回戦敗退(ベスト8)

ヨ ッ ト 部

令和八年度 全国高校総体ヨット
第67回 全国高校ヨット選手権大会
(8月12日 和歌山市・和歌山
セーリングセンター)

▼女子 ILC A 6級 桜庭和子 22位

放 送 部

第67回 秋田県放送コンテスト
兼第73回 NHK杯全国高校放送
コンテスト秋田県大会
(6月10日 能代市・能代市文
化会館ほか)

▼アナウンス部門 大友希生 佐藤彩莉那 佐藤遥
各 選

▼朗読部門 渡辺笑佳 優秀賞

▼テレビドキュメント部門 『オー……ッス!!』
入選(全国大会出場)

▼創作ラジオドラマ部門 『X』 入選

▼総合 銅賞

吹 奏 楽 部

第68回 秋田県吹奏楽コンクール
中央地区大会
(6月26日 秋田市・あきた芸術
劇場ミルハス) 金賞

秋田県大会
(7月18日 秋田市・あきた芸術
劇場ミルハス) 銀賞

親睦行事

「2025年落語を聴く会」

清水 学 (83期)



三遊亭楽麻呂師匠と初めてお会いしたのは、私が通うスポーツクラブで開催された落語会でのことでした。対面で落語を鑑賞するのはこれが初めての経験で、その迫力に深く感動したことを覚えています。終演後、近隣のピザ店で行われた懇親会では、師匠や参加者の皆様と親しく交流させていただき、その誠実なお人柄に触れ、以来、高座に通うようになりました。師匠は、五代目圓樂一門会の事務局長を務められる重鎮でいらつやいます。かつて『笑点』の司会として親しまれた五代目圓樂師匠の門下であり、高校卒業後、住み込みで修行を積まれた苦勞人でもあります。

本荘高校東京同窓会で「落語を聴く会」の企画が持ち上がった

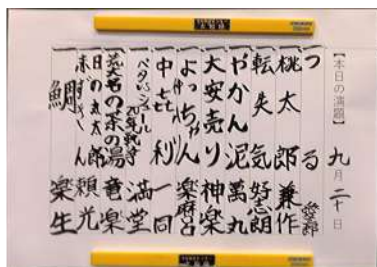
た際、真つ先に師匠の顔が浮かびました。両国で開催されている月例高座に足を運ぶうちに師匠と親交を深めていた私は、本企画について相談を持ちかけました。師匠からは「渋谷で開催される五代目圓樂一門会の一大イベントがふさわしい」との助言をいただき、国立劇場が主催する格式高い公演のチケットを確保できることになりました。会場は渋谷区文化総合センター大和田の伝承ホールです。同窓会のために団体席を手配いただけることとなり、事務局長の小杉先輩にもご協力いただき、まずは15席を確保いたしました。初めての募集活動で不安もござ

いしましたが、先輩方のご支援のおかげで準備は着々と進みました。当日は参加者の到着にハラハラする場面もありましたが、結果として16名もの方々にご参加いただき、会は大成功のうちに幕を閉じました。

公演後の懇親会には、師匠も駆けつけてくださいました。鉄道ファンとして知られる師匠には、由利高原鉄道の話題を交えてお話しいただき、会場は大いに盛り上がりました。師匠との乾杯や写真撮影は、忘れたい思い出です。

最後に付きますが、ご参加いただいた先輩方に改めて感謝申し上げます。本年も昨年同様、多くの方々と共に楽しめる落語会となりますよう、心待ちにしております。誠にありがとうございました。

当日の演目表



公演前の客席



懇親会（手前左が楽麻呂師匠）

編集後記

由利本荘市が運用するライブカメラの映像を楽しんでいます。市役所の屋上、法体の滝など市内10の各所から望む風景を、遠隔地に見ることが出来ます。生家に近い大内中学校のものがお気に入りです。真ん中に踏切があつて、ときおり列車が横切り、遮断機が開閉します。貨物列車は長いので得した気分です。山から立ち昇る水蒸気、麓の家並み、木々の枝葉の揺らぎ、多くはない人や車の往来……。やがて一面が白く覆われる季節です。近いうちに行くからねと、誰にともなく語りかけます。故郷も、そして皆様も、どうぞお元気で。（伊藤典明・69期）

第60回 本荘高校東京同窓会
総会・懇親会日 時 令和8年10月17日(土)
11時30分～15時

会 場 アルカディア市ヶ谷

懇親会費 10,000円

連絡先 本荘高校東京同窓会
事務局長 小杉利洋(77期)

E-mail sugitoshi0708@yahoo.co.jp

諸物価高騰のおりではありますが、多くの皆様の参加をお待ちしております。

QRコードでホームページが見られます。
(会報も カラー版 で掲載)

昨年の総会の模様

